
低濃度PCBの実態調査 (事業者へのWEBアンケート調査)の結果 (速報)

令和6年3月29日



環境省 環境再生・資源循環局 ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室

■ 目的

- 令和9年3月31日のPCB廃棄物の処理期限に向けて低濃度PCB使用製品等を所有する可能性がある事業者が行う当該製品等の所有有無調査の実施状況を調査する。
- 低濃度PCB廃棄物の保管量の実態把握を行い、処理の加速化に向けて今後重点的に対応する業界や分野について絞り込みを行うことを目的とする。

■ 実施方法

- 低濃度PCBを含有する機器等を所有する可能性がある対象者（平成6年以前に事業所を開業した事業者）に対して、業界団体等を通じて所有有無調査の実施状況に関するWEBアンケートを実施する。

■ 対象

- 低濃度PCBが保管されている可能性のある事業者を対象として、平成6年度以前から事業所が設立していて、現在も存続している事業所

■ 回答期間

- 令和5年12月20日（水）～令和6年1月26日（金）
※回答期間を延長して、令和6年2月29日（木）まで実施

■ 周知方法（調査票の配布方法）

- 各業界を所管する関係省庁から業界団体を経由して、業界団体に加盟する事業者に対して調査依頼を配布し、各事業者・事業所（560団体）へ調査依頼を周知

■ 回答形式

- オンライン上の回答フォームから、選択式で回答
※一部、機器の数量等については、自由記入式で回答させる箇所あり

調査における回答項目

1. 事業所の設立時期

平成6年以前から事業所が設立していて、現在も存続しているかどうか確認

2. 処分期間

PCBに汚染されている機器は法律で処分期間内（廃棄物で令和9年3月末）の処理が義務づけられている事を周知

3. 絶縁油を含む電気機器等の所有又は保管に係る調査状況（調査率）

調査の実施状況を確認

4. 絶縁油を含む機器の保有状況

対象となる電気機器等の使用・保管状況を確認

5. PCB汚染有無の調査結果（分析実施率）

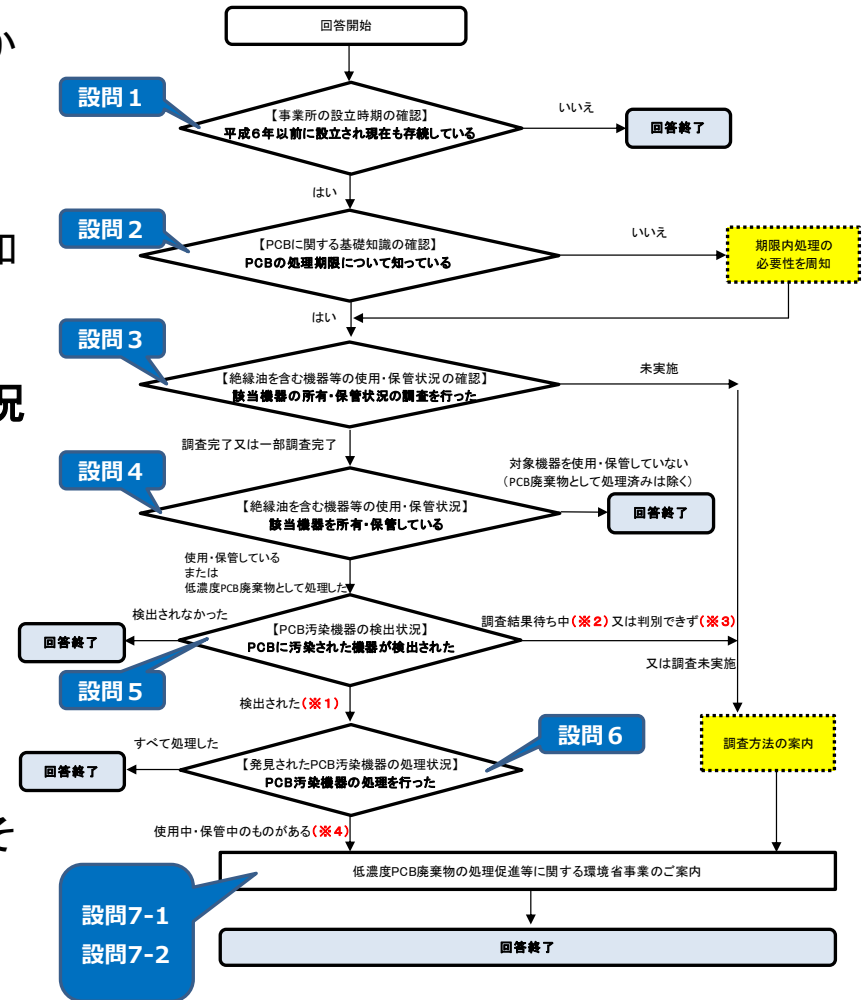
PCBに汚染された（汚染の可能性のある）機器の発見状況とその台数を確認

6. PCB汚染電気機器等の処理状況（処理率）

低濃度PCBの廃棄状況および使用・保管を継続する機器の台数

7. その他

PCBの処理に関する環境省の支援等に関する周知



- ※1: 低濃度PCB廃棄物と判明した電気機器の数を種類(自家用電気工作物、非家用電気工作物)毎にご回答ください。
- ※2: 濃度分析中の電気機器の数を種類(自家用電気工作物、非家用電気工作物)毎にご回答ください。
- ※3: 封じ切り等のため濃度分析が実施できない電気機器の数を種類(自家用電気工作物、非家用電気工作物)毎にご回答ください。
- ※4: 使用中または保管中の電気機器の数を種類(自家用電気工作物、非家用電気工作物)毎にご回答ください。

回答状況① 各設問の回答状況（1）

選択式回答項目

1. 事業所の設立時期

回答分母：44,098

（調査に回答いただいた事業者全員が対象）

	件数	割合
A. H6以前開設、現存	29,811	68%
B. H6以前開設、 H7以降建替・総入替	5,363	12%
C. H7以降開設	8,924	20%

2. 処分期間の認知

回答分母：29,811

（1. で「A. H6以前開設、現存」を選択した事業者が対象）

	件数	割合
A. 知っている	27,905	95%
B. 知らない	1,373	5%

3. 絶縁油を含む電気機器等の所有又は保管に係る調査状況（調査率）

回答分母：29,811

（1. で「A. H6以前開設、現存」を選択した事業者が対象）

	件数	割合
A. 調査実施、完了	21,865	73%
B. 調査実施、一部完了	5,289	18%
C. 調査未実施	2,657	9%

4. 絶縁油を含む機器の保有状況

回答分母：27,154

（3. で「A. 調査実施、完了」または「B. 調査実施、一部完了」を選択した事業者が対象）

	件数	割合
A. 使用・保管あり	15,036	55%
B. 使用・保管ともなし	12,118	45%

選択式回答項目

5. PCB汚染有無の調査結果（分析実施率）

回答分母：15,036

（4. で「A. 使用・保管あり」を選択した事業者が対象）

※複数選択のため、件数の合計が回答分母と一致しない

また、割合の合計が100%にならない

	件数	割合
A. PCB汚染あり確認	9,972	66%
B. PCB汚染なし確認	6,809	45%
C. 分析・調査結果待ち中	2,154	14%
D. PCB汚染有無判別不可	2,986	20%
E. 分析・調査未実施	552	4%

6. PCB汚染電気機器等の処理状況（処理率）

回答分母：9,972

（5. で「A. PCB汚染あり確認」を選択した事業者が対象）

	件数	割合
A. すべて処理済	5,173	52%
B. 使用・保管中機器あり	4,491	45%
（未回答）	308	3%

回答状況③ 各設問の回答状況（3）

自由記入式回答項目（数量等）※任意回答

1. 自家用電気工作物

調査項目	回答数	台数	1回答あたり台数
調査により汚染が確認された機器の台数	4,602	91,205	20
PCB汚染有無の分析・結果待ちの機器の台数	831	22,414	27
封じきり機器等の理由でPCB汚染有無の判別ができない台数	1,433	12,990	9
処理をしていない使用・保管中機器の台数	3,091	33,694	11

2. 非自家用電気工作物

調査項目	回答数	台数	1回答あたり台数
調査により汚染が確認された機器の台数	1,232	71,793	58
PCB汚染有無の分析・結果待ちの機器の台数	347	25,261	73
封じきり機器等の理由でPCB汚染有無の判別ができない台数	608	22,515	37
処理をしていない使用・保管中機器の台数	814	29,962	37

➤ 経済センサスとは（総務省統計局HPより）

「事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的」に5年ごとに実施されているもの

- 活動調査では民間の事業所に関する事項と企業に関する事項を整理
- 事業所に関する事項として集計された情報には、経営組織、本所・支所の別、開設時期、従業者数、事業の種類・業態及び形態あり
- 活動調査の最新は令和3年6月1日に実施（開設時期は令和5年6月公表）
- 事業所の業態の分類は日本標準産業分類（大分類）により整理

- 今回の調査では、業界団体を経由した調査の回答結果について、経済センサスの業種大分類ごとにデータを分類して整理を行い、業種別の傾向について回答結果の整理を行った。

回答状況④

経済センサスを用いた各業種における解析（1）全体・調査実施率



- 各事業所の回答について、経済センサス（令和3年度）における業種大分類に分類して、各業種で細集計を行った。
- 回答いただいた事業所に関して、各業種で中小規模事業所の回答数が多い。
（全体平均で約64%）
- 調査に回答いただいた事業所の大半が、PCBに汚染された機器の調査完了または一部調査を完了しており、調査に着手している。（約91%）

【産業界における回答状況①】

業種	対象事業所数	回答数	回答率	大規模事業所 [※]	中小規模事業所 [※]	零細規模事業所 [※]	事業所規模不明・データなし	平成6年以前から現在まで存続する事業所数	調査完了数	調査完了割合	調査実施数(完了or一部完了)	調査実施割合
A 農業、林業	5,201	61	1%	3	32	18	8	35	24	69%	33	94%
B 漁業	140	6	4%	4	1	1	0	3	1	33%	3	100%
C 鉱業、採石業、砂利採取業	122	15	12%	1	9	3	2	13	12	92%	13	100%
D 建設業	20,467	664	3%	33	302	200	129	379	319	84%	355	94%
E 製造業	110,115	5,253	5%	1,559	2,169	641	884	4,013	3,220	80%	3,867	96%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	12,369	1,361	11%	247	541	220	353	1,157	965	83%	1,094	95%
G 情報通信業	16,686	689	4%	83	128	105	373	252	183	73%	239	95%
H 運輸業、郵便業	62,800	1,988	3%	218	1,028	430	312	1,173	864	74%	1,069	91%

※ 大規模・中小規模・零細規模事業所は、経済センサス上の【事・従業者数合計】の項目を用いて分類。零細規模は「10名未満」、中小規模は「10～100名未満」、大規模は「100名以上」と定義。

- 産業界における各業種の発見・処理状況の傾向を整理するため、各業種で細集計を行った。
- 本調査に回答いただいた事業者の、絶縁油を含む機器の保有率は3割以上であった。
- 各業種で絶縁油を使用する機器を保有している場合、6割以上がPCB油に汚染された機器を保有していた。
- 汚染有無の判別ができない機器を保有している事業者は1割から3割程度であり、電気・ガス・熱供給・水道業等は3割を超えていた。

【産業界における回答状況②】

業 種	(a)平成6年以前から現在まで存続する事業所数	(b)調査実施数(完了)	(c)調査完了割合(b)/(a)	(d)調査実施数(完了or一部完了)	(e)調査実施割合(d)/(a)	(f)絶縁油保管状況(使用・保管有)	(g)保管割合(f)/(d)	(h)汚染機器保有有	(i)保有割合(h)/(f)	(j)調査結果待ち中	(k)調査待ち割合(j)/(f)	(l)汚染有無の判別不可	(m)判別不可割合(l)/(f)	(n)使用・保管中の機器有	(q)使用・保管割合(n)/(h)
A 農業、林業	35	24	69%	33	94%	18	51%	15	83%	5	28%	7	39%	10	67%
B 漁業	3	1	33%	3	100%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%	0	-
C 鉱業、採石業、砂利採取業	13	12	92%	13	100%	11	85%	9	82%	1	9%	0	0%	3	33%
D 建設業	379	319	84%	355	94%	194	51%	118	61%	15	8%	12	6%	51	43%
E 製造業	4,013	3,220	80%	3,867	96%	2,899	72%	2,236	77%	492	17%	658	23%	977	44%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1,157	965	83%	1,094	95%	451	39%	282	63%	84	19%	158	35%	185	66%
G 情報通信業	252	183	73%	239	95%	85	34%	60	71%	19	22%	21	25%	24	40%
H 運輸業、郵便業	1,173	864	74%	1,069	91%	634	54%	462	73%	90	14%	126	20%	258	56%

- 低濃度PCBに汚染された機器が発見された場合、または低濃度PCBに汚染された機器を所有・保管する場合について、数量や回答数当たりの発見数について整理した。
 ※ 数量については、アンケート内では任意回答となっている
- 産業界において、製造業や運輸業、郵便業、電気・ガス・熱供給・水道業、建設業において絶縁油を保有する機器を保有していると回答した事業所数が100事業所を超えており、集計対象として選定した。
- 集計結果より、製造業において自家用電気工作物や非自家用電気工作物が発見されている数が多く、また運輸業、郵便業において1回答あたりの自家用電気工作物や非自家用電気工作物の発見数が多い。

【産業界における回答状況③】

業種	自家用電気工作物が発見された数の回答数	自家用電気工作物が発見された数	回答数当たりの発見数	非自家用電気工作物が発見された数の回答数	非自家用電気工作物が発見された数	回答数当たりの発見数	自家用電気工作物の所有・保管数の回答数	自家用電気工作物の所有・保管数	回答数当たりの所有・保管数	非自家用電気工作物の所有・保管数の回答数	非自家用電気工作物の所有・保管数	回答数当たりの所有・保管数
D 建設業	50	216	4	19	435	23	36	128	4	14	395	28
E 製造業	1,211	35,900	30	375	25,806	69	690	16,104	23	276	14,717	53
F 電気・ガス・熱供給・水道業	112	2,420	22	63	2,221	35	91	1,493	16	86	1,163	14
H 運輸業、郵便業	216	20,275	94	78	6,612	85	182	4,898	27	61	3,108	51

- 業界団体を経由した調査の回答結果の集計を行うとともに、経済センサスのデータを活用して産業界における状況について分析を行った。
- 約4万4千事業所から回答があり、そのうち約7割は調査を実施済みであり、低濃度PCB廃棄物を発見した事業者のうち半数は処理を完了していた。
- 絶縁油を保管する機器を保有と回答している業種は、製造業や運輸業、郵便業、電気・ガス・熱供給・水道業、建設業が多かった。

○次年度以降の対応について

- アンケート調査の周知を行い、回答数を上げるための対応を検討する。
- 絶縁油を保管する機器を保有すると回答した数の多い業種について、解析を進める。また、業種を絞り込んでヒアリング調査や現地調査を行うことで、アンケート調査では把握できない情報をつかむ。